



広報

# くろまつない

祝 にゆうがくしき



主な内容

## 教育執行方針



the most beautiful  
villages  
in japan



# 教育執行方針

## はじめに

黒松内町総合教育大綱における「深く、強く、広い心の黒松内人を育む」を基本理念とし、優れた自然、人の魅力、そして



黒松内町教育委員会 教育長  
鈴木 浩 勝

町の歩みをしっかりと踏まえ、ふるさと黒松内への誇りと愛着を持ち、世界に視野を広げ、多様性を尊重し、持続可能なまちづくりを支える人材を育てるよう努めてまいります。

子育て世代が安心して子育てができる環境づくりや子供の心と学びを育てる学校教育、学び合いから地域づくりや生きがいにつながる生涯学習を進める教育施策に取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症対策については、本年5月からの「5類」移行と併せ、地域状況を踏まえ、学校、保護者、関係機関の方々と連携し、感染防止を図り、安全・安心な教育を推進してまいります。

## 主要施策の展開

次に、令和5年度の主要な施策について申し上げます。

1 学校と地域、保護者、関係団体が一体となりまち全体で子供たちを守り育みます

### (1) 子供の心を育む学校教育

学齢期については、親子ふれあい事業や家庭教育支援事業の開催、PTA等との連携による「早寝、早起き、朝ごはん」運動を推進し、学習習慣を含む生活習慣の確立を図るなど、家庭や地域社会の教育力向上に努めてまいります。

生徒指導については、子供の理解と人間尊重の教育を基盤に、教師と生徒の信頼関係及び児童生徒間の望ましい人間関係の構築を図るとともに、規範意識や倫理観などを育てる役割を担う家庭にも働きかけ、特に、「いじめを絶対にくるさない」学校づくりのため、組織的な早期発見・早期対応と相談・支援体制の充実に向けて、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでまいります。

また、子供たちのネットトラブルやネット依存の防止のため、「黒松内町情報モラル八箇条」をもとに、情報モラル教育を進めてまいります。

スクールカウンセラーによる支援を継続し、児童生徒と保護者の困り感や不安に対して学校と連携し、豊かな心の育成に努めてまいります。

### (2) みんなで子供を守り育む

少子化や地域連帯感の希薄化が進む中、子供たちの成長に大切な原体験や様々な人々とのふれあい不足などの課題が生じており、教育の出発点である家庭や地域社会における教育力の向上がより一層求められております。

乳幼児期は生涯にわたる人格形成の基盤を培う重要な時期であり、幼児教育及び保育は遊びや生活を通して、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向き合う人間形成等」の学びの基礎となる経験を育て、自己肯定感が高められるよう努めてまいります。

学びや発達を促していただけるよう、認定こども園黒松内保育園及び地域子育て支援センターと連携し、親子スポーツ教室や森のようちえん、一時預かり事業などに取り組んでまいります。また、黒松内保育園が行う保育等業務のICT化、送迎用バス

の置き去り防止対策装置の設置経費に対して助成をしております。

小学生の放課後における安全・安心な居場所として、児童クラブと子ども教室を実施し、学習活動やスポーツ、住民との交流活動等の取組から子供の自主性、創造性を育むとともに、子育て家庭から要望があった多様な子供を見守る体制づくりとして、児童クラブの開園時間の延長や地域の中でお互い助け合いながら子育てを行うファミリーサポートセンター事業を試行的に実施してまいります。一方、今後は児童やスタッフ数の減少が見込まれるため、本町に合った活動拠点体制を検討してまいります。

特別支援教育については、発達遅れ等の早期発見や適切な支援・相談等と通級指導教室の活用や、「個別の教育支援計画」をもとに保護者との情報の共有を進め、一人一人のニーズに応じた指導や支援を、小中学校の9年間取り組んでまいります。

児童生徒の通学路等の安全を確保するため、各学校と児童館に防犯カメラ5台を設置し、前

年度設置分と合わせて、適正に運用してまいります。

## 2 幼児から学齢児まで切れ目のない一貫した教育を展開し、未来を担う子供たちを育みます

### (1) 子供の学びを育む学校教育

社会に開かれた教育課程を理念に、「確かな学力 健やかな体 豊かな心」を総合的に捉え、多様な子供たちに、個別最適な学びや協働的な学びを取り入れ、社会における様々な場面で活用できる力を育んでまいります。そのためには、保育園から中学校の期間を通じた地域と連携・協働の取組において、「カリキュラム・マネジメント」の実践に努めてまいります。

本町には、「本物で学ぶ」ことができる教育資源が多くあり、学校が行う系統的で継続的な学習を展開するための情報を提供し、地域の方々の参画により、ふるさとへの理解とその発展に貢献しようとする意欲や態度を育み、自ら育った黒松内の良さを実感できる児童生徒を育成してまいります。

小学校と中学校の円滑な学習が進むよう、乗り入れ授業や学

校見学等の小中一貫した教育の推進と合わせ、協働的な学びを深めるため、町内の小学校間や中学校間での学びの場づくり、保育園と小学校との連携を行うてまいります。

各学校においては、子供たちが、ふるさとを福祉の心に満ちあふれ、心豊かな生活を営めるやさしい社会をつくる担い手となることを目的に、福祉教育と道徳教育の推進、そして、学年差に応じた防災教育やキャリア教育を進めてまいります。

児童生徒個々に合わせた基礎学力の定着と学習意欲の向上を図るため、学習支援員及び特別支援教育補助員の配置を継続し、また、オンラインを活用した町営塾を運営いたします。

ICT環境が整備され、デジタル教材の活用や一人一人に応じた個別学習、リアルタイムで考えを共有する共同学習など新しい授業形態が展開されています。1人1台貸与しているパソコンは、家庭学習や夏休み・冬休み期間や遠隔授業等で更なる活用を進め、児童生徒の個々に応じた学力の向上のため、学習支援ソフト（デジタルドリル）

を導入いたします。

児童生徒の読む力や考える力、想像力や判断力、表現力や感性を養い、豊かな心の形成につながる読書活動を進めるため、各学校に図書購入費を計上するとともに、ふれあいの森情報館司書を派遣し、読み聞かせなど読書に親しむ環境の充実に努めてまいります。

子供の頃からの発達段階に応じた体力の向上や健康の確保を図り、運動やスポーツの多様な楽しみ方が共有できるように、多くの児童生徒がスポーツに親しめる機会を図ってまいります。

スポーツ・文化面における部活動は、自信と意欲的な態度を育むなど、心身の成長段階での大きな契機になっています。多くの生徒が部活動に積極的に参加するよう奨励するとともに、部活動指導員を配置し、スポーツ少年団やスポーツ団体との結びつきを深める体制づくりや、部活動の地域移行に向けた検討を進めてまいります。

各学校の食育の取組については、給食指導や教科指導に栄養教諭が関わり食育指導を推進するとともに、地域食材の使用や



衛生管理を徹底し、安全・安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供いたします。学校給食費は、物価上昇に伴う食材費の高騰を受け、値上げをいたしましませんが、学校給食費補助制度により保護者負担はありません。

黒松内中学校の屋上は防水機能が老朽化により劣化していることから、2年間をかけて修繕工事を行うほか、学校及び教職員住宅は、安全・安心に使用できるよう補修工事等を実施いたします。

スクールバス3台に置き去り防止対策の安全装置を設置するなど、引き続き、安全な運行に努めます。

黒松内小学校の140周年記念事業に対し、記念誌や看板の作成などの必要な経費を計上しております。



## (2) 子供の未来を育む家庭教育

子供の「生きる力」を育むための教育は、学校だけで行われるものではなく、学校・家庭・地域が相互に連携しつつ、社会全体で取り組むことが不可欠です。

支援を必要とする幼児・児童生徒には、学校だけではなく、保健・福祉分野との連携を図り、より早期な対応を保護者理解のもとに取り組んでまいります。

不登校などの児童生徒を対象にした適応指導教室では、児童生徒に寄り添い、学校復帰や社会的自立につながるよう、学校と保護者を結び付ける居場所として運営をまいります。

### 3 豊かな自然を保全し、心豊かなに、ともに支え合う人を育みます

#### (1) 地域資源を活用した生涯学習

生涯学習を通して、町民一人ひとりが自己を磨き、活躍していくための学びの継続が求められています。自然体験活動や社会教育活動、文化芸術活動、ボランティア活動などのあらゆる機会や場所において学び、その成果を地域社会に生かすこと

できる「学びの育ち」を支援する環境づくりを進めてまいります。

地域の課題解決に関わり、町民が自主的に考え、つながりを持ち、活力ある学びと地域づくりを推進するため、地域おこし協力隊と各地区地域づくり振興会を中心に、地域づくり支援員と連携を図りながら、地域コミュニティの形成に努めてまいります。

#### 4 文化、スポーツの環境を整え、機動的な組織づくりを進め、ふるさとを愛する人材を育みます

#### (1) 豊かな地域を育む生涯学習

大人も知・徳・体の調和のとれた力を養うことは大切です。健康を維持して必要な知識・技能を学び、暮らしの中でいきがい、やりがいを感じられることを期待するものです。活動拠点となる生涯学習・スポーツ施設は、安全かつ快適に、誰もが利用しやすい施設づくりにより、引き続き、取り組んでまいります。

自主的・自発的な文化活動、個性的な地域文化の創造を促すため、文化団体連絡協議会など

が主催する文化祭や各種文化事業などの活動を支援することも、指導者の養成、リーダーの発掘に努めてまいります。

町内で生活する外国人技能実習生等が見られるようになり、多文化共生社会に向けた学習・交流機会を設け、また、2年目を迎える文化芸術鑑賞会友の会では、町民の手による鑑賞の機会づくりを図ってまいります。

読書活動とともに生涯学習の拠点施設であるふれあいの森情報館マンガエールでは、協働事業として友の会活動や文化団体の発表等の活動を展開してまいります。新たに、雑誌専用の電子書籍アプリを導入し、より多くの雑誌を閲覧できるよう取り組んでまいります。

総合町民センターは、開館から41年が経過し、暖房や給排水、音響設備などの老朽化に伴う更新時期に併せて、放課後児童活動の集約化や町民の利用形態の変化を踏まえ、また、災害時の避難所機能の充実を含めた町民が集う利便性ある施設となるよう、改修工事に向けた基本設計を策定いたします。

スポーツ推進委員や体育協会



加盟団体の協力により、親子による幼少期の運動の環境づくり、児童生徒の多様なスポーツ体験の場づくり、スポーツ少年団活動への支援、中高齢者の運動する機会づくりを行い、また、指導者の育成と指導力の向上にも努めてまいります。

地域活性化起業人制度において民間企業の持つ専門知識やノウハウ等を活用し、地域課題であるスポーツ少年団や部活動、スポーツクラブ活動の指導・支援方法やスポーツ合宿などの提案を受け、今後の展開につなげてまいります。

総合体育館は、各種教室の開催を通じて、スポーツや健康づくりに、そして、コミュニティサロンの利用も含めて、町民の健康づくりに取り組んでまいります。

市街地一周ミニ駅伝大会、全道シニア&レディースパークゴルフ大会については、競技内容や日程等を工夫し開催すること、町民の参加や応援などから町の元気づくりにつなげてまいります。

ブナセンターでは、環境教育と体験型の交流や自然情報の発

信、木育事業や森と健康づくりをつなげる森林療法の普及、森林サービス産業の育成を実行委員会等で進めるなど、北限のブナ林とともに暮らす町らしい活動に取り組んでまいります。開館30周年の記念として、ブナ林の魅力や素晴らしさを紹介する冊子を制作し、町内各戸に配付いたします。

オートキャンプ場は、他の交流施設との連携を図りながら、広いサイトを持つなどの特色を生かした施設運営を充実させ、交流人口の増加に努めてまいります。

中学2年生を対象にした世界文化遺産・西予市交流体験学習は、平和・命の尊さを考えるとともに、姉妹市町の愛媛県西予市を訪れ、異なる自然環境、歴史等に触れ、広い視野と豊かな感性を身に付ける貴重な体験であることから、引き続き、実施いたします。

## (2) 地域文化の保存・活用

郷土の近代生活史や文化、失われつつある生活民具など貴重な資料に目を向け、伝承につながる学習機会を設けるほか、保管している生涯学習館の老朽化

に伴い移設に向けた展示・保存計画の作成のため、専門家より助言を受けるなど、郷土資料保存サークルとともに地域文化の保存・活用に努めてまいります。

## 5 子供の学びの環境や、生涯学習が求められる環境を整えます

### (1) 学びを支える環境整備

コミュニケーション・スクール(学校運営協議会制度)では、地域住民や保護者等からの委員と目指す子供像の目標やビジョンを共有し、地域と一体となつて子供たちを育みます。併せて、地域学校協働本部において、学校と地域・町民を結びつけ、これらが両輪となり、学校における学校支援活動、家庭教育支援活動等から、地域社会とつながりある教育課程の編成や授業の展開に努めてまいります。

児童生徒に質の高い教育を保障するには、教職員の授業力向上や生徒指導力の資質・能力の向上が求められており、ミドルリーダーの育成や校内研修を充実するとともに、各種研修会への参加を推奨してまいります。

教員の働き方改革と云えば、

勤務時間を減らすことに注目しがちですが、求められていることは更なる教育の質の向上です。教員が本当にすべきことを行うため、業務内容・分担の見直しやICTを活用した学習支援ソフトの導入、部活動指導員を配置するなど学校全体で取り組んでまいります。

## おわりに

以上、令和5年度の教育行政執行方針について申し上げます。

未来を担う子供たちが、先人のたくましい開拓の心と緑に囲まれた美しい自然を受け継いで、ふるさと黒松内を愛し、夢を抱き広い世界に向かう心を育てることは、社会の責任です。

行政のみならず、学校、各関係機関・団体との連携を図り、子供の未来を育む家庭教育、そして豊かな地域をつくる生涯学習を推進させ、本町教育の更なる充実発展に取り組んでまいります。

町民の皆様及び町議会議員の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。





# 火災からまちを守る！ 黒松内消防団

消防団は消防署と同じく消防組織法に基づいて市町村に設置される消防機関です。黒松内消防団で活躍している団員は、自営業や会社員、主婦の方など、普段は別の仕事をしている方が多く、本業のかたわら消防・防災の知識を身に付け、火災から私たちの生活を守っています。

## 令和5年度 役員体制

**黒松内消防団とは**  
黒松内消防団は、明治42年3月に公設黒松内村消防組として発足。以来114年を経過し、現在は黒松内消防団（昭和30年1月結成）として1本団4分団で組織され、副団長2名、本団所属女性団員6名を含む実員58名の団員で編成されています。

<b>本 団</b>		
副団長	団 長	(新)副団長
		
さいとう くにひろ <b>斉藤 邦博</b>	かゆかわ ゆたか <b>粥川 豊</b>	いまだ まさし <b>今田 真史</b>
ほか団員6名		

**年間行事**

- ・ 消防演習 (10月)**  
消防団員が集結し、厳正な規律の下、団員間の連携と消防技術の向上を目的とした消防演習が開催されます。
- ・ 特別歳末警戒 (12月)**  
年末年始は火災が発生しやすい時期のため、安全に新年を迎えられるよう、広報活動や徒歩による町内巡回で火災予防を呼び掛けます。
- ・ 消防団出初式 (1月)**  
消防団員として長年にわたり地域防災のために尽力された方々に対し、表彰状や感謝状が授与されます。

黒松内分団 分団長	白井川分団 分団長	作開分団 分団長	中ノ川分団 (新)分団長
			
たなか しゅんじ <b>田中 春治</b>	おの のりたか <b>小野 徳孝</b>	のだ やすひろ <b>野田 康祐</b>	いながき まさのり <b>稲垣 政則</b>
ほか団員 17名	ほか団員 10名	ほか団員 5名	ほか団員 13名

**～ 消防団員募集中！！～**

18歳以上で、町内に居住する方又は通勤する方なら誰でも入団できます。災害からまちを守る心強い仲間をお待ちしています。興味のある方はお気軽に相談ください。

□お問合せ先  
岩内・寿都地方消防組合消防署 黒松内支署 警防係  
TEL 0136-72-3171



# ふれあいタウン情報

3/22  
(水)

音楽とヨガで癒しの時間  
星ヨガ体験講座

「健康とスポーツの町」スポーツフェスティバルin黒松内運営委員会主催の「音楽とヨガの星ヨガ体験講座」が武道場と町民センターで開催され、8名が参加しました。

講師に音楽とヨガによる「星ヨガ」を提唱するヨガ教師の星祐介さん（婆沢）を招き、世界30カ国以上で演奏経験のある星さんの奏でる音楽を聴きながら瞑想やヨガを行いました。

デジユリドゥというオーストラリアの民族の金管楽器やハンドパンという優しく美しい音色の楽器など、普段あまり馴染みのない楽器の演奏で会場はリラックス空間に。参加者は気持ちよさそうに体をほぐしていました。



3/22  
~ 4/2

美しい作品の数々  
上田茂水彩画展  
「ひかりー花と森の里」



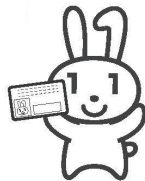
マナブエールを会場に画家上田茂さん（貝殻）による水彩画展「ひかりー花と森の里」が開催されました。

今回のテーマは「ひかり」。

上田さんは「生物も植物も光の恵みであり、多様な色彩も光の波長。豊かな森に囲まれた黒松内の光に満ちた風景と花の絵を通して、自然の大切さを伝え、心を輝かすことができれば幸いです。」と作品のコンセプトや作品に込めた思いについて話していました。

作品展は4月2日まで行われ、約60名が来場しました。来場者は上田さんの美しい作品の数々に魅了されていました。

## Information 暮らしのお知らせ



黒松内町 LINE 公式  
アカウントの登録  
はこちら！



下記のサイトにて「広報くろまつない」を掲載中！



### お知らせ

#### 住宅用太陽光発電システム導入補助金

町では、平成27年度からクリーンエネルギーの利用を促進するとともに、環境保全意識の高揚を図り、地球温暖化の防止に寄与することを目的に、町内で自ら居住する住宅に発電システムを設置する経費の一部を補助する「黒松内町住宅用太陽光発電システム導入補助金」を令和5年度も継続します。

申請書や詳しい資料は、町ホームページ（上記サイト）からダウンロードできるほか、町企画環境課窓口で配布しています。

補助金に関する詳細や設備の導入を検討されている方は、左記までお気軽に御相談ください。

#### ■お問合せ先

町企画環境課【担当 江戸】  
TEL 7 2 1 3 3 7 6

#### 第7回なごり桜まつりの中止について

例年5月下旬に開催されている「なごり桜まつり」は、諸般の事情により今年度の開催は中止となりましたのでお知らせします。

#### ■お問合せ先

町商工会  
TEL 7 2 1 3 2 3 1



## こころとからだの健康相談

保健福祉センターでは毎月1回、保健師・栄養士による個別の健康相談を行っています。

健診結果の見方や生活習慣病の改善方法、がんや慢性疾患を患われた方や御家族の相談などに応じています。

相談希望がある方は相談日にお気軽に保健福祉センターまでお越しください。

### ▼相談場所

保健福祉センター

### ▼相談日程

令和5年

5月22日・6月26日

7月24日・8月28日

9月25日・10月23日

11月27日・12月25日

令和6年

1月22日・2月26日

3月25日

### ▼相談時間

14時～15時

### ■お問合せ先

町保健福祉課【担当】柳谷

TEL 7214285

※右記日程以外でも健康に関する相談に随時対応いたしますので、お気軽に御連絡ください。



## こころの健康相談

こんなことはありませんか？

- ・やる気がでない・眠れない
  - ・いつも気分が落ち込む
  - ・急に涙が出てきたり泣きたくなる
  - ・物忘れが多くなり心配
  - ・思春期の心と体についての心配
- など

保健所では、子供からお年寄りまで、こころの健康について、専門医や保健師が相談に応じています。

なお、相談は予約制になっておりますので、相談日の3日前までに保健所までお問合せください。

### ▼相談場所・日程

① 俱知安保健所

令和5年

5月22日 10時～12時

7月27日 14時～16時

9月25日 10時～12時

11月16日 14時～16時

令和6年

1月25日 14時～16時

3月21日 14時～16時

② 余市支所

令和5年

6月22日 13時～15時

8月24日 13時～15時

10月23日 10時～12時

12月21日 13時～15時

令和6年

2月22日 13時半～15時半

### ■予約・お問合せ先

俱知安保健所 健康推進課 健康支援係

TEL 013612311957

## 年金生活者支援給付金制度

年金生活者支援給付金は収入が一定基準以下の年金受給者の生活を支援するため、年金に上乗せして給付されています。

受給には請求書の提出が必要で、案内や事務手続きは日本年金機構が実施します。

### ▼対象者

次の要件を全て満たしている方

【老齢基礎年金受給者の場合】

・65歳以上

・世帯全員の市町村民税が非課税

・年金収入額とその他所得額の合計が88万円以下

【障害・遺族基礎年金受給者の場合】

・前年の所得額が約47.2万円以下

### ▼請求手続き

【令和4年4月1日以前から年金を受給している方】

・対象となる方には、日本年金機構から請求手続きの案内（はがき）が送付されています。

【令和4年4月2日以後に年金を受給し始めた方】

・年金事務所又は町住民課で手続きをしてください。

### ■お問合せ先

小樽年金事務所

TEL 013412314236

町住民課【担当】牛尾・三浦

TEL 72133312

## 募 集

### 自 衛 官 募 集

防衛省では、自衛官採用試験及び説明会を次のとおり実施します。

#### 令和5年度採用の自衛官

募集種目	受験資格	受付期間	試験期日
予備自衛官補	一般 18歳以上 34歳未満の者	令和5年6月1日 ～ 令和5年9月21日	令和5年 9月30日～10月1日 ※いずれか1日を指定されます
	技能 18歳以上で国家免許 資格等を有する者		

#### 事務所説明会

説明種目	日 時	場 所	備 考
一般曹候補生 自衛官候補生	令和5年6月18日 10:00～15:00	自衛隊札幌地方協力本部 俱知安地域事務所	※左記の日時以外での説明会をご希望の方は別途調整を承ります

### ■お問合せ先

自衛隊札幌地方協力本部

俱知安地域事務所

TEL 013612313540

## 地域おこし協力隊が着任

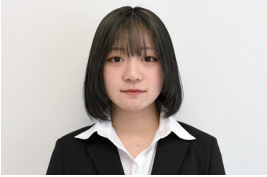
この度、地域おこし協力隊を旭川市出身の上原亜砂美さんと倶知安町出身の宮崎風生さんの2名に委嘱し、鎌田町長から委嘱状を交付しました。

上原さんは3月15日から道の駅ピザ工房、宮崎さんは4月1日から町内の種子馬鈴しよ生産者で構成する「合同会社アグリサポート中の川」を中心に活動しています。

上原さんは「初めての業種なので皆さんの足手まといにならないように、かつ私が持つ調理経験・知識も活かすことができればいいと思います。飲食店開業も視野に入れながら、まずは道の駅の業務に励んでいきます。」と、宮崎さんは「3年間の研修を通して種子馬鈴しよに関する知識や栽培技術、経営ノウハウなどたくさんを身につけ、自分も将来は農業経営者として黒松内町を支えていきたいと思いません。」と、抱負と目標を話してくれました。



上原 亜砂美 さん  
旭川市出身



宮崎 風生 さん  
倶知安町出身

## 全町クリーン作戦開催

「全町クリーン作戦」を次のとおり開催します。

市街地周辺や道道沿いでごみ拾いを行いますので、御家族・御友人をお誘い合わせの上、御参加ください。

### ▼日時

令和5年5月20日（土）

9時15分から10時30分まで

（受付は8時45分から行います）

### ▼集合場所

除雪センター前

### ▼その他

- ・軍手、ごみ袋は受付時に配布します。

- ・集合場所にて、参加者名簿への記名に御協力ください。

- ・悪天候による中止の場合は防災行政無線でお知らせします。

### ■お問合せ先

町住民課【担当 大石】

TEL 72-33312



## 俳句

ぶなの里俳句会

春の風邪こ息をおとして経唱ふ

喜美子

雛飾る吾子もひひなも五十七

ひろ子

水温む手作り豆腐の粗き肌

孝子

天窓につぎつぎ生るる雪霽

悦子

コーヒーに浮かすマシエマ口木の茅風

米子

久に逢ふ人とおしやべり彼岸寺

奉子

春満月赤きトタンの屋根照らす

かおる



## 町の人口と世帯

3月末日現在 (住民基本台帳)

### 2,566人 (-66)

(うち外国籍住民: 29人)

- 男 1,215人 (-42)
- 女 1,351人 (-24)
- 世帯 1,419世帯 (-18)

※ ( ) 内の数字は前年同月との比較

## 御冥福をお祈り申し上げます

工藤 徹雄 (老人ホーム)	96歳 3.18
松田 正一 (8区)	96歳 3.27
山田 正彦 (上中ノ川)	81歳 4.3
亀山 静子 (北7区)	83歳 4.15
高坂 豊 (8区)	92歳 4.16

※掲載を希望されない場合は、届出の際にお申し付けください。



**行政相談委員 再任**  
令和5年4月1日付けで、町内8区在住の津田利幸さんが、総務大臣から行政相談委員に再委嘱されました。行政相談委員は、町民の皆さまから、窓口サービス、道路、登記、年金などの役所(国・北海道・町等)の業務についての意見、要望、苦情をお聞きして伝える、役所とのパイプ役で、相談は無料です。

毎月第2水曜日に、コミュニティ防災センターで定例行政相談所を開設していただきますので、お気軽に御利用ください。

■お問合せ先  
行政相談委員 津田利幸 (自宅)  
TEL 72-13726

## 異動

### 人事異動について

町で次のとおり人事異動がありますので、お知らせします。



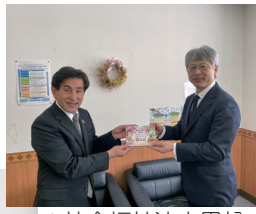
▼3月31日付け退職  
中島 秀平  
佐藤 藤高  
藤島 平均

▼4月1日付け採用・配属  
寺江 俊貴 (保健福祉課)  
加治 卯月 (総務課)

## 寄附

### 御寄附に感謝

この度、新小学1年生の学校生活に役立ててくださると、社会福祉法人黒松内つくし園代表理事大代貴輝様から「粘土」を、有限会社光銭商店代表取締役横江友義様から「黄色い傘」を賜りました。善意に心から感謝申し上げます。



▲社会福祉法人黒松内つくし園様から粘土を受け取る鈴木教育長



▲有限会社光銭商店様から傘を受け取る鈴木教育長

### 企業版ふるさと納税

この度、地方自治体が行う地方創生の取組に対する寄附である「企業版ふるさと納税」として御寄附いただいたホクレン農業協同組合連合会様へ感謝状を贈呈しました。

### 社会貢献活動感謝状贈呈

この度、社会貢献活動の一環として町道の補修作業に御協力いただいた三共舗道株式会社様へ感謝状を贈呈しました。

## 広報 くろまつない

2023(令和5年).4.27 No.540

発行 黒松内町  
〒048-0192 寿都郡黒松内町字黒松内 302 番地 1  
TEL 0136-72-3311(代表) FAX 0136-72-3316  
E-mail buna@town.kuromatsunai.hokkaido.jp

編集 黒松内町企画環境課  
TEL 0136-72-3376 (ダイヤルイン)

印刷 ㈱総北海

町政に対する御意見・御要望等がある方は「私の思い」に内容を記載の上、ファックスにて送信してください。「私の思い」は、記入用紙を役場庁舎に備えており、年2回広報折込でも配布しています。また、町ホームページから直接投稿することもできます。(http://www.kuromatsunai.com)



ファックス番号 72-3316 (役場)

● 広報くろまつないNo.541 発行予定日は5月25日(木)です。



広報くろまつないは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO2削減事業並びに東北経済復興を応援しています。また、環境に優しい道産間伐材を配合した用紙を使用しています。